

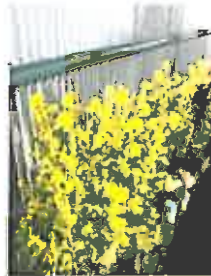


### 春の訪れ

児童デイでは、2月の1日と2日に節分のまめまきを行いました。はじめに、節分行事の由来として、イラストを使い下記の様な話をしました。

- ・2月4日は立春といって、寒い冬が終わりここから新たな春がやってくるといわれる日
- ・そこで前日の3日に、災いをもたらす鬼を追いかけて、訪れる春の幸せを願って豆まきをするようになった
- ・豆まきのほかにも、吉方巻やいわしの頭を柵の枝にさして戸口におく厄除けなどがあること

みんな「ふんふん」とうなずきながら、よく話を聞いていました。そして、実際の豆まきは、鬼にむかって力強くまめを投げていましたよ！



後日、駐車場の花壇でも、春の訪れを発見！

送迎専属の運転手さんが、種をまいてくれた菜の花が鮮やかな黄色い花を咲かせているかたわら、フキノトウもよっつきかおを出していました。待ち遠しい暖かな春はそこまでやってきていますね！



### ヘルパーだより NO.11

「(ピンポン) まごころの〇〇です」  
「ハ〜イ!!」今では、この声の調子で今日のAさんの体調がわかるようになりました。

独居のAさんは、退院されたばかりの平成23年11月より、障害福祉サービスを利用され、現在週3回、二人のヘルパーが訪問しています。

退院されたばかりの頃は元気がなく、口数も少なく、いつも気難しい顔をされていました。そんなAさんに、1つだけお願いをしました。毎朝鏡を見て、ニコッと笑い「今日も付いてる、付いてる」と言ってくださいと・・・しばらくすると、Aさんはゴミ出し、洗濯も自分で出来るようになりました。今では挨拶の次に「あいたかった、あいたかった、あいたかった、イエーイ!!」と歌でコミュニケーションをとり、ガラガラと大笑いされます。半年かかりました。

Aさんはとても正直で、素直で、思いやりがあり、お茶目なところもある女性です。台所で一緒に料理をしながら、学生時代の恋の話、お勤めされていた頃のことなどおしゃべりしながら笑ってばかりいます。

施設に入所されているご両親をととても大事にされて、毎日自転車で面会に出かけられています。これからもご自分に自信が持てるよう、生活支援を行っていききたいと思います。



#### 利用者さんのことば・・・

いつも会えるのをとても楽しみにしています。いつも元気で明るいヘルパーさんに会うと楽しく元気が出ます。いろいろ怒ってくださったり、優しく諭して下さったりとても力強いです。



### 心っれづれ



### 大好きな場所

2年前の3月11日、午後2時46分、東北地方太平洋地震が発生しました。

その時ディズニーリゾートでは約7万人の人たちがまさか今日、この場所で大地震を体験するなど想像していなかったでしょう。

噴水にたまった水が撒き散らし、水上を巡るアトラクションの舟さえも大きく揺らしました。でも、キャスト(働く人)たちはパニックを起こしませんでした。彼らは持ち場のゲスト(来場者)に対し、すぐさま冷静な指示を送り、ゲストはパニックを起こさずに、落ち着いて座り込むことができました。その後ゲストを室内から出し、広い安全な場所に集め、キャストが取り囲むように広場に集めたのです。

なぜ、キャストは冷静に対応できたのでしょうか?キャストは年180回(2日に1回)避難訓練を行っているため冷静な対応をすることが出来たのです。(避難訓練は、10万人の来場者がいるとき、震度6強の揺れがあった時を想定。5万人が3~5日は過ごせるだけの食料の備蓄がある)

東京ディズニーリゾートで働く全員は「Safety(安全)」「Courtesy(礼儀正しさ)」「Show(ショー)」「Efficiency(効率)」(=行動基準SCSE)を心がけてチームワークを発揮しているということです。

東海大地震も、いつ起こるか分からない状況です。子どもたちを守るという意味でも、模範にしていきたい行動です。

協力会員 清水千裕



### ミニデイ便り



### 長年のご協力に感謝 !!

17年間続いたミニデイサービスも、この3月で終わりを迎えることとなりました。どの時代もミニデイでの一日が、利用者さんそれぞれの大切な居場所として、過ごして頂けたことを嬉しく思います。

利用者さんからの「火曜日が来るのが待ち遠しいわ。」という声はスタッフにとって嬉しく励みになっておりました。

また近年では広場いっぱいの方々が集って下さり、希望される方の入会をお断りするケースも増えていました。

昨年の9月より週3回ではありますが、デイサービスまごころとして出発しています。ミニデイの利用者さんも移行してご利用くださいます。これからも利用者さんの楽しい笑い声が響く広場であることを願っています。

ミニデイの最後の活動として、以前好評だった絞り染めで共同作品を完成させることにしました。今年の20周年のための会の旗です。白い布にお一人おひとりが字に思いを込めて『一宮まごころ』と書き、ろうけつ染めと絞り染めを数回重ねます。まだ、目下作製中!予測の出来ない仕上がりに「どんな色になるか、楽しみだね〜」と口々に言ってみえる利用者さんです。



昨年の秋、妙興寺にて